

令和元年度 専門学校静岡医療秘書学院 学校評価書

※自己評価 A 十分成果があった B 成果があった C 少し成果があった D 成果がなかった

1. 教育理念・教育目標・教育計画

評価項目	具体的取り組み	自己評価	学校としての改善策	学校関係者評価委員の意見
学園理念	<ul style="list-style-type: none"> 医療業務に携わるために必要な知識と技能を習得するだけでなく、人として義を重んじ礼を尽くす人間形成に基づき、医療現場において病める人たちに優しく接し、人の悩みの判る人間愛に根ざした奉仕の精神を兼ね備えた人材を育成する。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 学生の小さな変化にも早めに気づき、早めに指導する。学校全体で取り組む 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 取り組みは評価できる 2. 医療秘書の役割が、医療現場の医師や看護師等と患者とのパイプ役であることを意識されたい 3. 学園理念は、各事業の基本的な考え方であるので、各事業の評価の積み上げで理念に沿っているかを判断し考える 4. 学院、医療関係者、先生方との意見交換を行い、学園理念に沿った運営を期待する 5. 学生と教員のコミュニケーションを密にして、今後も理念に沿った人材育成をして欲しい
	<ul style="list-style-type: none"> 時代の変化に対しても有効かつ適切に対応する 	A	<ul style="list-style-type: none"> 医療事務に加え医療クラークの育成に取り組む 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医師の業務が年々煩雑となるなか、良質な医療の確保のためにも事務的な面で補佐する医療秘書の役割は重要である
教育目標	<ul style="list-style-type: none"> 良好な医療体制を構成する医療スタッフの一員である医療秘書・医療事務を育成する 	A	<ul style="list-style-type: none"> 教育環境に常に気をくばり対応するとともに、医療関係者の意見をより多く取り入れる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 取り入れていると考える 2. 実習先医療機関などから、医療現場が求める医療秘書を確認する 3. 学生が実際に医療秘書、医療事務に就業したかを評価にすべきと考える 4. 意見を多く取り入れ、柔軟な対応をする 5. 具体化や時代の流れに沿った基本方針等の明文化がなされると良い
教育計画	<ul style="list-style-type: none"> 学校案内・学生便覧（学則・細則・教育課程・教務規程・学生心得・その他数々の規程）を配布し理解する 	A	<ul style="list-style-type: none"> 今後ともいっそうの充実をはかるとともに、学生からの意見も取り入れたり、時代にそぐわないものは削除・訂正をする 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学生からの意見も重要である 2. 引き続き改善策の徹底に取り組んでいただきたい 3. 教育計画は教師側の問題なので、目標に達しない場合、その反省点を議論することが肝要だと思う 4. 新しい時代に合った教育、充実した学校生活を期待

2-1. 教育活動

評価項目	具体的取り組み	自己評価	学校としての改善策	学校関係者評価委員の意見
教育課程	・教育目標を反映する	A	・外部の意見も取り入れ再度検証する	<ol style="list-style-type: none"> 1. カリキュラムは妥当と考える 2. 教育目標が達せられるよう課程を変更し、目標が達成出来たら、新たな目標のもと課程を見直すことが肝要 3. 卒業生の実体験談講演の機会が有ると良い 4. 学生のニーズをとらえ、引き続き教科以外の講座も充実させると良い
	・日本医師会認定カリキュラムを遵守しつつ社会の要請や就職先の要望を反映する	A	・社会情報の変化や学生の変化に対し柔軟に対応する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育活動に関しては、規定のカリキュラムに則った対応が適切になされており、専任教官による授業と前期・後期の試験を通じた学習効果の判定が確実に行われている。また、基本教科以外にも、「病院関連事務」といった昨今の医療事情（現場の需要）に応じた教育プログラムを取り入れるなど工夫している。結果的に、「日本医師会医療秘書認定試験」の高い合格率と病院への就職実績などを継続的に維持できている点は評価できる
	・専門科目と基礎科目等との関連や科目間の系統性、関連性を十分に考慮する	A	・カリキュラムを変更し来年度より実施する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療保険請求事務実技試験の基礎問題は基礎知識であるため、学生が十分理解できるよう徹底されたい
	・職業人としてのマナーやしつけ教育などにも配慮する	B	・教科以外の講座等を多く組み、これまで以上の成果を上げる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 卒業生や就職先医療機関に対してアンケートを行い、卒業生の活躍状況を評価し、教育課程の改善に活用したらどうか 2. マナー講習、コミュニケーション能力の向上にも力を入れていただきたい

2-2. 教育活動

評価項目	具体的取り組み	自己評価	学校としての改善策	学校関係者評価委員の意見
教育課程の実施	・授業科目の学年進行や時間配当に十分配慮する	B	・曜日振替授業等の実施	1. 授業の時間配分は妥当と思われる 2. 一義的には、実施したか、しなかったを判断し、その上で効果がなければ教育課程の問題として議論に取り上げていくことが重要である
	・教員の受け持ち時間は過重にならないように配慮する	A	・引き続き考慮しながら授業日程を組む	1. 講師の講義は、できるだけ休診日や受付時間以外で調整されている
	・少人数指導や習熟度別指導を導入する	B	・検定の科目の割り振りが偏らないように配慮する	1. 検定前やテスト前などは補講授業や放課後学習・自習など、教室を開放して欲しい
学習指導・評価	・医療クランクを目指すための授業展開をする	A	・目標とする職業を意識しながら学習するよう指導する	1. 指導・評価は適切に行われていると考える 2. 学生の教育の定着度が学習指導の評価なので、定着していれば問題ないと思う
	・日本医師会医療秘書認定試験受験基準に必要な各種資格を取得させ、さらに高度な技能を目指させる	A	・専門知識習得の意欲を向上させる	1. 試験強化週間を設けるなどの取り離みが結果に繋がってきていると思われる
	・学習速度が遅れがちな学生を対象とした特別指導を実施する	A	・長期休暇や放課後等を利用して実施しているが、一層丁寧に行う	1. 赤点をとる学生が減少しているため、成果は上がっていると考え
	・成績評価の基準を明確に学生に示す	B	・定期試験等は十分学生に説明しているが、その他の教科ごとの加算内容等は担当の講師に任されているので、それらも明確にしている	1. 個人のやる気を引き出すような指導を期待する。結果、赤点をとる学生がさらに減ることを願う

2-3. 教育活動

評価項目	具体的取り組み	自己評価	学校としての改善策	学校関係者評価委員の意見
テキスト ・教材	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの内容はあらゆる機会に検討し、出版社に対し常に改訂の要請をする 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・改定の要請はしているが、毎年出版という訳にはいかない為、副教材で対応する 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 副教材も充実していると考え 2. 少子高齢社会を迎え、医療保険など社会保障制度が変化しているので、記述が古くなった部分など公開されている情報などを確認されたい 3. 知識として新しいものが出てきたり、教材の内容に変更があれば必ずテキストに反映すべきと考える
	<ul style="list-style-type: none"> ・学生がわかりやすい資料作成に努める 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・講師の希望によりカラー印刷機を導入したことにより副教材が充実した 	<ol style="list-style-type: none"> 1. カラーで写真なども使ったわかりやすい資料や教材が良いと思う
	<ul style="list-style-type: none"> ・資格、検定試験に対応することができるようにする 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年良好な結果を残せるよう、より高度な内容にもトライさせたい 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 評価できる
実習研修	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の医療機関に約1ヶ月の実習研修に出向く為、各教科でも必要な指導に当たる 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・指導するのが現場の医師や医療事務職なので内容は十分であるが、理解が不足している学生に対し、補講等一層工夫し実習に出向かせる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研修の評価を統一する 2. 初めて医療現場を経験するため、先輩医療事務者からの指導を将来に生かして欲しい 3. 実習先医療機関は業務多忙の中、研修を引き受けてくれているため、学生には実習前に心得を確認されたい 4. 現場の結果を見るのではなく、現場で実習効果が上がるように、学校内で問題点を研究することが求められる 5. 就職した際、即戦力になれるよう、実習研修はとても重要だと思う 6. 専門知識のほか、接遇等のスキルを身につけられるようにして欲しい

3. 生活支援

評価項目	具体的取り組み	自己評価	学校としての改善策	学校関係者評価委員の意見
生活指導 カウンセリング	・クラス担任制によりきめ細かく指導する	B	・担任の負担が多く、外部講師にも協力を要請する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学生の指導にマンパワーが足りないということであれば、グループ校などに協力を求めるなど、複数の教員による複合的な指導により質を高めていくなどの工夫が必要 2. 担任教師だけがクラスの問題を把握するのではなく、学年主任や副担任など、学校全体で情報を共有しながら指導することが重要 3. 専門職と連携し、多様化する学生の個性に対応して欲しい
	・環境整備を意識させる	C	・学生の掃除を徹底させる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職場（学校）の整理整頓は仕事（学習）の一部であることを理解させる 2. 消毒が必要な場所は業者を入れた方が良い
	・学校生活不適合、学業不振、問題行動などの早期発見、早期指導体制の充実に努める	B	・毎朝の打ち合わせに十分時間をとっているが、心の問題については医師の助言を求める	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学生の殆どが自宅通学者のため家庭とも連携して指導すべきである
	・教育相談（カウンセリング）の体制を整備し有効に機能させる	A	・高校のカウンセリングルームを積極的に活用する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 一部の学生に学校生活への不適合や問題行動などが見られるようだが、教育相談（カウンセリング）体制をさらに強化して、早期発見・早期対応に努められたい。ただし、現状のスタッフ数ではマンパワー的にも限界もあり、今後に向けて、人員の増加ならびに職員への教育充実にも努められると良い
	・学生の悩みや相談にのりやすい環境をつくる	B	・経済的な問題の学生にはアルバイトの紹介等を行ったが、その他については有識者に相談する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 担任制のため学生にとっても相談する先生がいるという点で心強いと思われる 2. 学生に寄り添う生活指導（カウンセリング）（石垣）
	・健康管理体制を整え、医療関係者としての自覚を深める	A	・ほぼ毎日医師が講師として来校するので、意見を求め参考にする	<ol style="list-style-type: none"> 1. 適宜専門科の受診を勧められたい
	・学生の本分を自覚させる	A	・遅刻が多い学生には、就寝時間やアルバイト後の帰宅時間を聞くなど指導する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学業不振→中退とならないよう、変化を見逃さず、継続した指導が必要と思われる 2. 学生の時に直しておきたい。後に大変になる

4. 就職・進学

評価項目	具体的取り組み	自己評価	学校としての改善策	学校関係者評価委員の意見
就職指導 進学指導	・就職のための全体指導だけでなく個人指導も行う	A	・1年生と2年生では大きく意識が異なり、またモラトリアムが必要な学生もあり、より一層きめ細やかな指導が必要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 就職・進学先の情報を取り込むことが必要 2. 就職率がほぼ100%であるので適正に行われているものとする 3. 就職することへの不安要素を取り除き、自らの目標や意識を高められるような指導を期待する。また、就職後のケアも重要に思う 4. 就職希望者の就職決定率100%ということで、適切な指導が行われていると考える 5. 現状として、就職率は良好であり、学生の継続的な確保にも寄与している印象がある。また、従前からの開業医等の受付業務や医事業務だけでなく、病院での医療秘書的な業務や検診センター他への就職など多様性の富む就職実績があることは、後輩の学生にも励みとなることが多いように感じられる
	・就職試験対策の授業を行う	B	・面接練習だけでなく、一般常識を養うよう社会学の授業を充実させる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習先医療機関の意見を参考にされたい 2. コミュニケーション能力の向上に努めると良い
	・必要があれば進学希望者に対する指導も行う	A	・進学希望者がなかった	<ol style="list-style-type: none"> 1. 入学者の殆どが就職目的であるものの、大学等との単位互換制度や上級課程への進級・編入についても関係資料を準備されたい

5. 学生の募集と受け入れ

評価項目	具体的取り組み	自己評価	学校としての改善策	学校関係者評価委員の意見
募集	<ul style="list-style-type: none"> 募集要項は真実性・明瞭性・公平性・法令遵守等十分配慮し、入学希望者に判断材料を提供する 	A	<ul style="list-style-type: none"> 迅速に広報活動に利用する 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 通学圏内にターゲットを絞る 2. 県内の高等学校に出向き、進路指導の教諭に学院の特色を説明するなど、努力されている 3. 学園から送り出す学生の質を高めることが、募集効果を高めるものとする。まずは、学生の教育に注力を 4. 職業の魅力を、社会・地域に向けて発信するよう心掛けて欲しい
	<ul style="list-style-type: none"> 学校案内をより理解しやすく編集する 	A	<ul style="list-style-type: none"> 理解しやすいよう視覚的な表現を多く採り入れ、3年に1度のリニューアルを目標にする 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 魅力ある学校案内になっていると思われる
	<ul style="list-style-type: none"> ウェブサイト等を利用した広報に力を入れる 	B	<ul style="list-style-type: none"> ホームページでの広報やメールで意見等を聞き、アンケートや希望者の他校動向を分析する 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ウェブサイト内の情報更新を頻繁に行われたい 2. ホームページは最新情報を素早く更新し、学校の良さが充分伝わるような魅力あるページを期待する 3. 募集要項等の内容検討や改訂などは定期的に行われ、時世に沿った対応にも努めている。ウェブサイト（ホームページ）の更新も随時行われているようだが、スマホ対応の掲載なども検討されると良い。なお、現状として、学生の受け入れは中部地区が中心になっているが、東部・西部寄りの学生にも情報提供がなされると良い
入学選考	<ul style="list-style-type: none"> 提出願書（志望動機・調査書・成績証明書）などにより、本学への理解や熱意を適正かつ公平な基準で判断する。特に将来医療関係に就く意欲を問うように注意する 	A	<ul style="list-style-type: none"> 学生の提出書類等の内容だけではなく、面接にも力を入れ、受験生の意欲がわくようにも配慮する 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 適切と考える 2. 学習内容が専門分野に限られるので、本当に強い意志でその職業に就きたいという希望があるか確認されている 3. 入学選考基準は、理念と目標に則して作り上げることが望まれる 4. より意識の高い、やる気のある生徒の入学が望ましい

6. 安全管理

評価項目	具体的取り組み	自己評価	学校としての改善策	学校関係者評価委員の意見
危機管理	・非常時・緊急時に対応できる体制をつくり、被害の拡大を防ぐ	A	・危機管理マニュアルを作成し、有事の際はすみやかに対応できるよう、改めて確認した	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大規模な自然災害が毎年起こるような状況であり、引き続き、危機意識を高めていただきたい 2. メール配信などを利用し、学校と保護者・生徒が、同じ情報の共有・連絡のとれる環境作りが重要 3. 適切な運営が行われていると考える 4. 学院内の安全管理や危機管理に関して特段の工夫がなされている印象はないが、学院入口付近の交通事故防止に向けた各種指導や災害時の対応策などがより明確になると良い。併せて、種々の感染予防に関して、医師会等への相談も行い伝搬防止に向けた対策検討がなされると良い
	・避難訓練の実施	A	・道路を横断しての避難のため交通状況の把握が必要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 適切に行われていると判断する
	・保存食・水、災害用品の管理	A	・毎年新しいものに取り換える	<ol style="list-style-type: none"> 1. 取り換えた物を、防災訓練の際に食べると良い
保健衛生	・校内施設の衛生管理を行い、学生が快適な学校生活を送れるよう環境を整える	A	・定期的に施設の安全点検を行う	<ol style="list-style-type: none"> 1. 適切と考える

7. 施設・設備

評価項目	具体的取り組み	自己評価	学校としての改善策	学校関係者評価委員の意見
教室	・学習目標を達成し技術を身につけるために施設設備を適切かつ十分に整備する	A	・窓や机・椅子の老朽化が目立つので改善するよう努める	<ol style="list-style-type: none"> 1. 清掃を義務化してはどうか 2. 学びやすい環境が整っているか、配慮されたい 3. 予算の範囲内で、改善できる所は是非改善して欲しい 4. 課題解決に向けた改善策に期待する 5. 施設・設備面での迅速な改善対応には財政的な問題が関与するが、机や椅子の老朽化などがやや目立つので、将来計画につなげていくと良い。併せて、パソコン環境の整備などにも配慮があると良い
情報処理室	・ハード・ソフトの充実	C	・動作が遅いのでメモリを増設したいのと、最新バージョンにアップデートできるように整備したい	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学習機材が十分であるか、ない場合は、附属高校との機材等の共同利用も考慮されたい 2. 予算をかければ解決するべきものが多いので、予算の範囲内でできるところから行っていく。予算不足が問題であるなら、授業料だけでなく、学園事業収入が確保できる新規事業等を検討する
101 教室	・多目的室は有効に機能させる	C	・無線 LAN、移動式の机、iPadなどを導入する	<ol style="list-style-type: none"> 1. iPad (タブレット) を使った学習は、上手く使えば効率も良く、色々な意味でメリットも多いと思うので、是非導入を検討したらどうか
保健室	・清潔に努める	C	・定期的な換気や清掃を行う	<ol style="list-style-type: none"> 1. 清潔を保つ場所なので清掃業者を入れた方が良い
図書コーナー	・整理整頓する	B	・書庫が少ないので古い本を廃棄したり、新しい本を入れ使いやすいうよう整理する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 蔵書について、学習・教育を支援するため、附属高校とも相互に協力して提供されたい
学生ホール	・教科書や資料が増えているため、ロッカーを増やしたい	B	・スペースの問題があるが検討する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 予算の範囲内で、改善できる所は是非改善して欲しい
	・共有スペースを有効活用する	A	・卓球台を置きリフレッシュできるよう活用する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 気分転換にもなるし良いと思います (高木)

学校評価のまとめ

学 校	学校関係評価会員
<p>落ち着いた学校生活を送れた1年だった</p> <p>カラー印刷機を上手に活用し、特に医療系の資料作成など充実できた</p> <p>安定した入学生の確保を今後も目指す。</p> <p>施設設備は整備されているが、今後もより一層の充実を図りたい</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 概ね妥当と考える 2. 医療クークとして病院に就職する学生も毎年数名いるため、現場が求める即戦力として活躍できる能力の向上に努めていただきたい 3. 学校運営の観点から言えば、募集に対し応募が多く、定員をオーバーし、質の高い生徒が集まることだと思う。そのためには卒後の生徒の活躍が不可欠であり、学内にあって教育をしっかり行うことと、卒後生徒に学園に対する愛情をもたせる指導に尽きる 4. 生徒1人1人が充実した学生生活を送ることが出来るように、御指導宜しく願います 5. ロビーのエントランスに、たくさんの写真が飾っており、学生達の様子を見ることが出来て良いまた、オープンキャンパスなどで来校する生徒達の良い刺激にもなると思う。就職先からの問合せも非常に多いと聞き、この学校がとても信頼されているのだと感じた 6. 学校が27年、施設設備の整備、今後より一層必要である 7. 広報・募集活動により入学生を確保し、今後も地域の医療を支える人材を多く輩出して欲しい 8. 比較的問題が少ない状況にあると考える。パソコン環境の再整備に関しては、2年間の学院生活で求められるITスキルの到達目標を明確にしたのちに、必要に応じた環境整備を考えていくと良い